

【使用上の注意】

1. 副作用

本薬は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類 \ 頻度	頻度不明
過敏症 注1)	過敏症状 (紅斑等)

注1) このような場合には使用を中止すること

2. 適用上の注意

(1) 投与経路

経口投与しないこと。

(2) 使用時

- 1) 眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には、刺激症状を起こすことがあるので、直ちに拭きとり石けん水と水でよく洗い流すこと。
- 3) 本品は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
- 4) 炎症又は易刺激性の部位に使用するには、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 5) 長期間又は広範囲に使用しないこと。

(3) 調製時

- 1) 希釈する水にアルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類が存在する場合、変化することがあるので注意すること。
- 2) 本品は常水で希釈すると次第に混濁して沈殿することがあるが、このような場合には上澄み液を使用すること。

【薬効薬理】

本薬は使用濃度において抗酸菌を含む通常の細菌には有効であるが、芽胞及び大部分のウイルスに対する効果はほとんど期待できない。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クレゾール (Cresol) 分子式：C₇H₈O
クレゾール異性体の混合物である。 分子量：108.14

【取扱い上の注意】

長期保存により、若干の容器変形を起こすことがある。又、色が濃くなることもあるが品質の劣化ではない。(クレゾールの物性による)

外皮用・防疫用殺菌消毒薬

日本薬局方 クレゾール石ケン液

クレゾール石ケン液「ヤマゼン」M

Saponated Cresol Solution
“Yamazén” M

製造販売元



山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2008年3月改訂

(貯法) 気密容器 遮光、室温保存 承認番号 16100AMZ01629000
「取扱い上の注意」の項参照 薬価収載 1983年 3月
販売開始 1983年 3月
再評価結果 1982年 8月

日本標準商品分類番号 872616.877325

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚[吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

【組成・性状】

組成：1 mL中、日局クレゾール0.5 mL含有 (50vol%)。
添加物としてダイズ油、水酸化カリウムを含有する。

性状：本品は黄褐色～赤褐色の粘稠性のある液で、クレゾール臭がある。本品は水、エタノール (95) 又はグリセリンと混和する。本品はアルカリ性である。

【効能・効果】【用法・用量】

クレゾールとして下記の濃度に希釈して使用する。

1. 手指・皮膚の消毒	0.5～1% (本品の50～100倍希釈液)
2. 手術部位 (手術野) の皮膚の消毒	
3. 医療用具の消毒	
4. 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	
5. 排泄物の消毒	1.5% (時に5～10%)
6. 膣の消毒	0.1% (本品の500倍希釈液)

製造番号

使用期限

4



(01)14987296350152

GS1-RSS



ラベル

容器本体
キャップ

(1004) A 外装フィルム